

# まなびの森

校長通信第 10 号 令和元年.12.23  
廿日市市立吉和小中学校  
校長 森岡 勝司  
TEL(0829)77-2010

教育目標「夢や目標をもち、自己実現をめざす児童生徒の育成」

**いよいよ明日から冬休み！家族で語り合いの時間を過ごしてください！**

早いもので明日から冬休みに入ります。吉和学園生の皆さんはずいぶんと楽しみにしているようですね。皆さんにとって今年はどういう年だったのでしょうか？ 年頭に立てた目標は達成できたのでしょうか？

私は、何事も目標に向けて努力したことは、目標が達成できなくても決して無駄ではない！とポジティブにとらえることにしています。

「結果がダメなら努力したって意味がない。」とつぶやく子どもがいたら、「努力しているうちは前に進んでいるけど、努力を怠れば現状維持ではなく、まちがいなく後退だよ。」と語っています。努力は希望を生むエネルギーです。来年を素敵な一年にするかは、自分の今の心、一念にあります。2学期の学習や生活を振り返り、来年の具体的な目標を立ててください。

さて、保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。年末年始のあわただしい休みですが、児童生徒には家の手伝い（大掃除など）を喜んで（頼まれたらハイ！YES！喜んで！）を合言葉にと伝えていきます。進んで行くよう伝えていきます。ご家庭での役割を持たせてあげてください。また、せっかくの休みですから、家族での団らん、とりわけお子さんとの対話の場を持っていたいただければと思います。

私事ですが、3人の子を持つ父親として、まとまった休みには対話の場を持つよう心掛けたつもりです。こたつに入るとは、トランプゲームをよくしたものです。時にはオセロをしたりと。何か遊びの中で対話のきっかけはあるものです。時には中学高校時代の恋愛の話(?)とか。ふだん中々話すことのない内容になると、子どもの知らない親の一面がうかがえて嬉しいようでした。特に親の失敗談を、興味津々と聞いてくれた我が子の嬉し気な顔は、今もなつかしく覚えています。将来の夢や進路について話をしてやってくだ



さい。もちろんのことですが、子どもの話をしっかり耳を傾けていただくことが何よりも大切です。親子の対話とは一方的に話をすることではないので。親子にとって有意義な休みになりますようお願いしております。来年一年間が、皆様にとって良い年になりますように心よりお祈り申し上げます。



